

長野市水道事業経営戦略（令和4年度～令和13年度）

令和4年度の進捗状況

令和5年 月
上下水道局総務課

目次

I	経営の基本方針に係る主な取組状況	…	2
	1 お客さまへの安全な水道水の供給	…	2
	2 災害に強くいつでも安定供給できる施設の整備	…	2
	3 健全かつ透明性のある事業運営	…	3
	4 お客さま・自然とともにあゆむ水道	…	5
	5 持続可能な経営のための財源の確保	…	7
II	主な事業実績等	…	8
	1 投資について	…	8
	(1) 老朽管の更新計画	…	8
	(2) 基幹施設の整備計画	…	8
	(3) 基幹管路及び重要ルート耐震化計画	…	8
	(4) 水運用計画の見直し	…	8
	(5) 防災・安全対策について	…	9
	(6) 長寿命化について	…	9
	(7) 広域化について	…	9
	(8) 地下水利用の推進について	…	9
	(9) 浸水対策について	…	9
	2 財源について	…	10
	(1) 企業債について	…	10
	3 現在検討中及び今後検討予定の取組について	…	10
	(1) 投資以外の経費についての検討状況	…	10
III	業務量・財政収支・目標指標の達成状況と分析	…	11
IV	まとめ	…	14

I 経営の基本方針に係る主な取組状況

【経営戦略 20 ページから】

項目	令和4年度の取組状況
1 お客さまへの安全な水道水の供給 【20ページ】	
水道水質の向上	<p>令和2年度から、安全な水道水の供給システム構築を目的として策定した「水安全計画」をすべての水源及び浄水場で運用しています。</p> <p>今後も、毎年レビュー会議を実施し十分に計画が機能しているか検証するとともに、必要に応じ見直しを行います。</p> <p>また、水質検査計画を毎年策定し、計画的かつ効率的に水質検査を行うことで、引き続き安全で安心な水道水の供給に努めています。</p>
水源保全の強化	<p>大町ダム及び裾花川流域ダムからの表流水の取水については、河川管理者や電気事業者などと、ダムの運用状況や運転に関する情報の共有化を図っています。</p> <p>また、地下水源において、令和2年度から水質管理目標設定項目に追加された「有機フッ素化合物」の検査回数を増加させるなど水質監視の強化に努めています。</p>
2 災害に強くいつでも安定供給できる施設の整備 【21ページ】	
効果的・効率的な施設の更新(老朽管更新事業など)	<p>令和4年度は4,007mの老朽管を更新しました。老朽管の更新に当たっては、水道施設整備計画に基づき、将来の給水量の減少を踏まえて、芹田地区等で既存管口径200mmを100mmで更新するなどのダウンサイジングを行いました。</p> <p>また、基幹管路については、非常時でも弾力的な水運用を可能とする送配水システム(2系統化)の構築を図るため、三輪地区で管口径600mmの水道管の更新を実施しました。</p> <p>事業規模としては、基幹管路と配水支管を合わせて年間約22億円で更新を実施しています。</p>
災害に強い水道の整備(耐震化、耐水化)	<p>水道施設整備計画において、病院、避難場所、官公庁など災害時の重要給水施設として位置付けた施設30箇所のうち、令和4年度は松代中学校などへの配水ルート39mについて管路の耐震化を図りました。</p> <p>また、管路が破損した場合の被害を最小限に食い止めるため、西尾張部地区などで配水ブロック整備工事を実施しました。</p> <p>さらに、大きな地震などの災害への備えとして、管路の耐震化整備に併せて広域避難場所や都市公園などに</p>

項目	令和4年度の取組状況																								
	<p>災害時応急給水施設(地下式給水栓)の整備を進めており、令和4年度は、古里地区の古里公園ほか1ヵ所に設置しました。</p> <p>そのほか、東日本台風災害の経験を踏まえ、ハザードマップにおいて浸水の影響を受ける可能性が高い主要施設の耐水化を進めており、令和4年度は西沖浄水場、寺尾浄水場で防水扉の設置や窓開口部の閉塞等を実施しました。</p> <p>併せて、犀川浄水場については、堤外地の井戸(伏流水)7箇所での汚水侵入防止効果のある通気管の設置や点検蓋に対し止水ゴムを設置しました。</p>																								
災害時における対応の強化	<p>令和4年10月に「公益社団法人日本水道協会中部地方支部災害時相互応援に関する協定」に基づき、地震等の災害に被災した都市が、速やかに給水能力を回復できるように、中部地方支部に属する県支部間における円滑な相互応援活動を目的とした、近隣3県(愛知県、新潟県、長野県)合同の防災訓練(岡崎市開催)に参加し、応援要請等情報伝達訓練及び応急復旧活動訓練を実施しました。</p> <p>また、令和4年度は管内の断水等への給水車の出動に加え、災害時の応援協定等に基づき、小川村などの県内外事業体で応援給水活動を実施しました。</p> <table border="1" data-bbox="592 1263 1394 1742"> <thead> <tr> <th>応援期間</th> <th>応援先</th> <th>給水車台数(台)</th> <th>応援人数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R5.8.7 ～R5.8.9</td> <td>小川村</td> <td>3</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>R5.9.20</td> <td>千曲市</td> <td>1</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>R4.9.26 ～R4.10.1</td> <td>静岡県静岡市</td> <td>1</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>R5.1.27 ～R5.1.30</td> <td>石川県輪島市</td> <td>1</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>R5.3.27</td> <td>小布施町</td> <td>2</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>	応援期間	応援先	給水車台数(台)	応援人数(人)	R5.8.7 ～R5.8.9	小川村	3	21	R5.9.20	千曲市	1	4	R4.9.26 ～R4.10.1	静岡県静岡市	1	8	R5.1.27 ～R5.1.30	石川県輪島市	1	4	R5.3.27	小布施町	2	4
応援期間	応援先	給水車台数(台)	応援人数(人)																						
R5.8.7 ～R5.8.9	小川村	3	21																						
R5.9.20	千曲市	1	4																						
R4.9.26 ～R4.10.1	静岡県静岡市	1	8																						
R5.1.27 ～R5.1.30	石川県輪島市	1	4																						
R5.3.27	小布施町	2	4																						
<p>3 健全かつ透明性のある事業運営 【22ページ】</p>																									
適正な料金による健全な水道経営	<p>口座振替による納入促進を図るため、引き続き口座振替WEB申込サービスでの受付を進めるとともに、PayPay、LINEPayといったスマホバーコード決済(電子決済)での納付にも対応するなど多様な納付手段を設け収納率の向上を図っています。</p>																								

項目	令和4年度の取組状況
	<p>また、適正な料金を設定するため中核市や他市町村の料金水準、改定動向等の情報収集を行い、比較検討を行っています。</p> <p>有収率向上の取組として、効率的な漏水調査方法によって漏水箇所の特定を可能とするために、令和4年度から人工衛星データを使ったAI解析による漏水可能性区域の絞り込み（スクリーニング）を取り入れた調査方法を開始しました。</p> <p>1次調査として人工衛星データからAIで解析し、漏水の疑いのある区域を半径100mに絞り込み、さらに2次調査として現地で漏水箇所の特定をしています。</p> <p>引き続き、現地の詳細調査（2次調査）を実施することで漏水箇所の特定及び迅速な漏水修繕に努めます。</p>
維持管理の効率化と水道技術の継承	<p>地域における技術力向上と技術の継承を目的に、局職員と長野市水道工事協同組合の組合員、近隣水道事業体の職員を対象とする講習会を以下のとおり実施しました。</p> <p>●第1回長野市上下水道局技術研修（ダクタイル鉄管技術説明会） 主 催：長野市 参加者：長野市上下水道局、近隣水道事業体 実施日：8月2日（火） 会 場：東部浄化センター 参加者：30名 内 容：ダクタイル鉄管の技術説明</p> <p>●第2回長野市上下水道局技術研修（配水用ポリエチレン管施工講習会） 主 催：長野市 参加者：長野市上下水道局、近隣水道事業体 実施日：9月27日（火） 会 場：東部浄化センター 参加者：27名 内 容：配水用ポリエチレン管の施工講習</p> <p>●仕切弁操作、防災対応共同研修会 主 催：長野市、長野市水道工事協同組合</p>

項目	令和4年度の取組状況
	<p>参加者：長野市上下水道局、長野市水道工事協同組合 実施日：10月7日(金) 会 場：東部浄化センター 参加者：28名 内 容：仕切弁操作方法、生コンの品質管理、不断水工法について</p> <p>また、令和4年度からは維持管理の作業効率の向上と水道技術の継承を図るため、ウェアラブルカメラおよび現場で使用できるモバイルワークPCを整備し、維持管理ノウハウを映像に残す体制を整えるとともに、ペーパーレス化や、場所を問わずに庁内情報へアクセスできる環境を整備しました。更なる作業の効率化を見据えて、デジタル技術を活用し、DX化を推進しています。</p>

4 お客さま・自然とともにあゆむ水道 【22～23ページ】

<p>お客様サービスの充実</p>	<p>お客様に水道事業に対する理解を深めていただくため、局広報紙「ながの水だより」と子ども向けパンフレット「水の大冒険」などを発行しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・局広報紙「ながの水だより」の発行（2月号） [内容：審議会での審議結果、広域化の最新情報等] <ul style="list-style-type: none"> ・子ども用パンフレット「水の大冒険」の発行 [市内の小学4年生に配布] ・「水道事業の広域化」に関するチラシの発行 [令和4年11月「広報ながの」に合わせて配布]
-------------------	--

項目	令和4年度の取組状況
	<p>・給水車のペーパークラフトの作成 [浄水場見学などに合わせて配布]</p>  <p>・犀川浄水場施設見学の受け入れ [見学者：市内小学校37校（2,086人）、用水組合等15団体（163人）]</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の影響で中止していた水道施設見学などのイベントを、3年ぶりに実施しました。</p> <p>・水道施設見学バスツアーの開催（14人）</p> <p>・自由研究お助け教室の開催（71人）</p> <p>そのほか、TwitterやYouTubeなどのSNSを活用して水道凍結などについての注意喚起やイベント情報などを積極的に発信し、情報提供の充実を図りました。</p>
環境対策の実施	<p>犀川浄水場及び川合新田水源において、外灯のLED化を23台実施しました。今後、年間で19,400kWhの電力使用量を削減見込みです。</p> <p>また、浄水過程で発生する浄水発生土を堆肥化することで園芸肥料として有効利用するなど、SDGsの取組も進めています。園芸肥料は市内小学校の園芸活動にも利用されています。</p> <p>なお、株式会社DK-Powerとの共同事業で令和4年5月から運用を開始した上野配水池のマイクロ水力発電設</p>

項目	令和4年度の取組状況
	備については、103,518kWhの発電と170,804円の売電収益がありました。
5 持続可能な経営のための財源の確保 【23ページ】	
料金水準と料金制度の検討	<p>令和3年度に、令和4～6年度までの3年間、水道料金を据え置き、料金体系も維持することとしましたが、将来にわたり安全で安心な水を供給するため、長期的な視点から水需要の推移を分析するとともに、中核市・県内他都市の料金水準、改定動向や資産維持費の算入状況等の情報収集を行い、最適な料金水準と料金制度について検討しています。</p>
企業債の計画的な借入れ	<p>将来世代の負担を軽減するため、給水人口一人当たりの企業債残高が概ね10万円となるよう令和4年度から企業債の借入額を抑制しています。</p> <p>令和4年度は、建設改良費約46億89万円に対して、企業債を14億4,790万円借り入れました。前年度と比較して借入額は4億2,950万円減少しました。</p> <p>令和3年度は企業債対建設改良費率50.68%、令和4年度は同31.47%と、建設改良費に対する企業債の割合も大幅に減少しました。</p>

Ⅱ. 主な事業実績等

【経営戦略 24 ページから】

経営戦略の内容	令和4年度の事業実績等
1 投資について	
(1) 老朽管の更新計画 【24～25ページ】	
更新事業費を平準化して実施	老朽管更新実績 合計延長4,007m <ul style="list-style-type: none"> ・犀川S-2ブロック内配水管布設替工事 ・夏目N-8ブロック内配水管布設替工事 ほか
(2) 基幹施設の整備計画 【25ページ】	
夏目ヶ原浄水場の廃止に向けた送水管更生工事	送水管の更新 <ul style="list-style-type: none"> ・犀川夏目送水管占用協議資料作成業務委託 (R4年度)
若槻東条地区にポンプ場を新設	長野市水道施設整備計画に基づき、若松町ポンプ場について機能を分割した上で更新するとともに、新たに(仮称)若槻東条ポンプ場を建設 <ul style="list-style-type: none"> ・ポンプ場建設予定地用地買収 A=1,668㎡ (R4年度)
既存の基幹となる浄水場や配水池を結ぶ基幹管路及び送水ポンプの更新	基幹管路の更新 合計延長639m 送水ポンプの更新 <ul style="list-style-type: none"> ・寺尾浄水場東寺尾送水ポンプ更新工事 (R3～R4年度)
(3) 基幹管路及び重要ルートの耐震化計画 【26ページ】	
浄水場から主要配水池を結ぶ老朽化した送水管などの基幹管路や、災害時拠点となる重要給水施設(病院、官公庁等)と主要配水池を結ぶ重要ルートの管路の耐震化の実施	基幹管路の耐震化 合計延長3,181m <ul style="list-style-type: none"> ・夏目-蚊里田送水管布設稲田工区工事 ほか 重要ルートの耐震化 延長39m <ul style="list-style-type: none"> ・災害時重要施設 松代町松代地区配水管布設替工事 ほか
(4) 水運用計画の見直し 【26～27ページ】	
松代・若穂地区の水運用計画の見直し 【松代地区】 <ul style="list-style-type: none"> ・新東寺尾配水池築造 	松代地区の水運用計画の見直しにより、施設の再配置を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・新東寺尾配水池築造工事 (R2～R4年度)

経営戦略の内容	令和4年度の事業実績等
・送水・排水管布設	
(5) 防災・安全対策について 【27ページ】	
配水池・浄水場の耐震化の実施	<p>震災時にも給水が行えるように配水池の耐震化を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏目ヶ原浄水場3号配水池耐震補強工事 (R3～R5年度)
(6) 長寿命化について 【27ページ】	
施設やポンプなどの設備については、定期的に点検やオーバーホールを実施し、長寿命化を図る	<p>定期的な保守点検の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・犀川浄水場中央監視制御設備保守点検委託 ・川合新田水源2号配水ポンプオーバーホール工事 (R4年度)
(7) 広域化について 【28ページ】	
「上田長野地域水道事業広域化研究会」による、上田長野地域における広域化の方向性の検討	<p>令和4年度は、水道事業の将来について考えていただくため、住民自治協議会役員や市民を対象とした説明会を実施しました。</p> <p>引き続き、市民や議会へ丁寧に説明をしながら、県企業局・関係市町と協議を進め、広域化の方向性を示す予定です。</p>
(8) 地下水利用の推進について 【28ページ】	
<p>浄水場・水源の設備更新</p> <ul style="list-style-type: none"> ・犀川浄水場4、5、9、10号井戸ケーシング更生工事 ・川合新田水源5号井戸ケーシング更生工事 ・犀川浄水場4、5、9、10号取水ポンプ更新 	<p>地下水利用を推進するため、犀川浄水場および川合新田水源の井戸ケーシングの更新を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・犀川浄水場4・5号井戸ケーシング更生工事 (R4～R5年度) ・川合新田水源5号井戸ケーシング更生工事 (R4年度) ・犀川浄水場4・5号井戸取水ポンプ更新工事 (R4～R5年度)
(9) 浸水対策について 【28ページ】	
<p>浄水場の浸水対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西沖浄水場 ・寺尾浄水場 ・犀川浄水場 	<p>浸水被害の影響が想定される主要浄水場で耐水化による対策を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西沖浄水場浸水対策工事 (R3～R4年度) ・寺尾浄水場浸水対策工事 (R4年度)

経営戦略の内容	令和4年度の事業実績等
	<p>・犀川浄水場井戸浸水対策工事 (R4年度)</p>
<p>2 財源について</p>	
<p>(1) 企業債について 【30ページ】</p>	
<p>将来の企業債残高の抑制を図る</p>	<p>給水人口一人当たりの企業債残高が概ね10万円となるよう借入額を抑制 【企業債残高の推移(単位：百万円)】 R 2 : 30,560 R 3 : 30,729 R 4 : 30,437</p>
<p>3 現在検討中及び今後検討予定の取組について</p>	
<p>(1) 投資以外の経費についての検討状況</p>	
<p>① 犀川・夏目ヶ原浄水場等運転管理業務委託 【32ページ】</p>	
<p>委託業務範囲の更なる拡大について検討</p>	<p>令和3年度からの第5期犀川・夏目ヶ原浄水場等運転管理業務委託では、緑地管理業務や設備点検業務などを追加し委託範囲を拡大して実施しています。 令和6年度の更新に向け、業務委託範囲の更なる拡大について、検討を進めていきます。</p>
<p>② OB職員の採用等に関する取組 【32ページ】</p>	
<p>技能労務職員等の技術継承について</p>	<p>現場管理に必要な業務のノウハウや技術等を継承するため、定年退職後の職員4名を再任用しました。(技術者3名、技能労務者1名。前年度からの任用継続を含む)</p>
<p>③ インフラ・みらい検討会における取組 【32ページ】</p>	
<p>官民連携・広域化部会、水道事業部会・料金体系等検討部会による調査・研究</p>	<p>水道事業部会では、コスト縮減による経営の効率化と管路耐震化率の向上を図るため、管口径50mmについて、配水用ポリエチレン管への採用に向け調査・研究を進め、その後の局経営会議にて正式採用が決定されました。 また、管口径75mm・100mmへの採用拡大を検討するための研究や、給水管の仕様の統一及び広域化を見据えた資材の統一についての研究を行いました。</p>

Ⅲ. 業務量・財政収支・目標指標の達成状況と分析

1 業務量

項目	R 2		R 3		R 4	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績
給水人口 (人)	267,544	267,895	265,458	266,017	266,231	263,563
年間総給水量 (m ³)	34,245,395	33,258,878	33,972,375	33,273,301	32,575,520	32,986,969
年間総有収水量 (m ³)	29,729,615	28,542,826	29,499,665	28,523,729	28,314,510	28,149,496
有収率	86.81%	85.82%	86.83%	85.73%	86.92%	85.34%

2 財政収支

(単位：百万円)

項目	R 2		R 3		R 4	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績
収益的收入	6,747	6,933	6,967	6,929	6,865	6,838
料金収入	5,862	6,003	6,032	6,044	6,039	6,006
収益的支出	5,960	5,517	6,254	5,692	5,734	5,616
経常損益	787	1,416	713	1,237	1,131	1,222
特別損益	0	2	0	△18	0	0
当年度純利益	787	1,418	713	1,219	1,131	1,222
資本的收入	2,438	2,380	2,599	2,177	1,932	1,913
資本的支出	5,579	6,214	5,888	5,412	6,192	6,341
建設改良費	3,863	4,498	4,180	3,704	4,452	4,601
資本的収支差引額	△3,141	△3,834	△3,289	△3,235	△3,289	△4,428
補填財源残高	9,033	10,542	9,459	11,472	10,363	10,983
企業債残高	31,741	30,560	31,914	30,729	31,517	30,437
一般会計繰入金	772	642	830	430	665	489

3 目標指標の達成状況【経営戦略 24、29 ページ】

下段の()は前年度比

指標名	R2	R3	R4	目標	
				【R8】	【R13】
有収率	85.82%	85.73% (0.09↓)	85.34% (0.39↓)	90%	90%
管路経年化率	22.90%	24.75% (1.85↑)	27.44% (2.69↑)	31% 【抑制目標】	29% 【抑制目標】
基幹管路耐震化率	39.00%	43.22% (4.20↑)	43.76% (0.54↑)	46%	48%
配水池耐震施設率	35.41%	35.61% (0.19↑)	35.61% (-)	59%	76%
経常収支比率	125.65%	121.73% (3.92↓)	121.76% (0.03↑)	124%以上【毎年】	
料金回収率	119.68%	116.21% (3.47↓)	116.96% (0.75↑)	117%以上【毎年】	
[供給単価(円/㎡)]	[210.31]	[211.89]	[213.36]		
[給水原価(円/㎡)]	[175.73]	[182.33]	[182.43]		

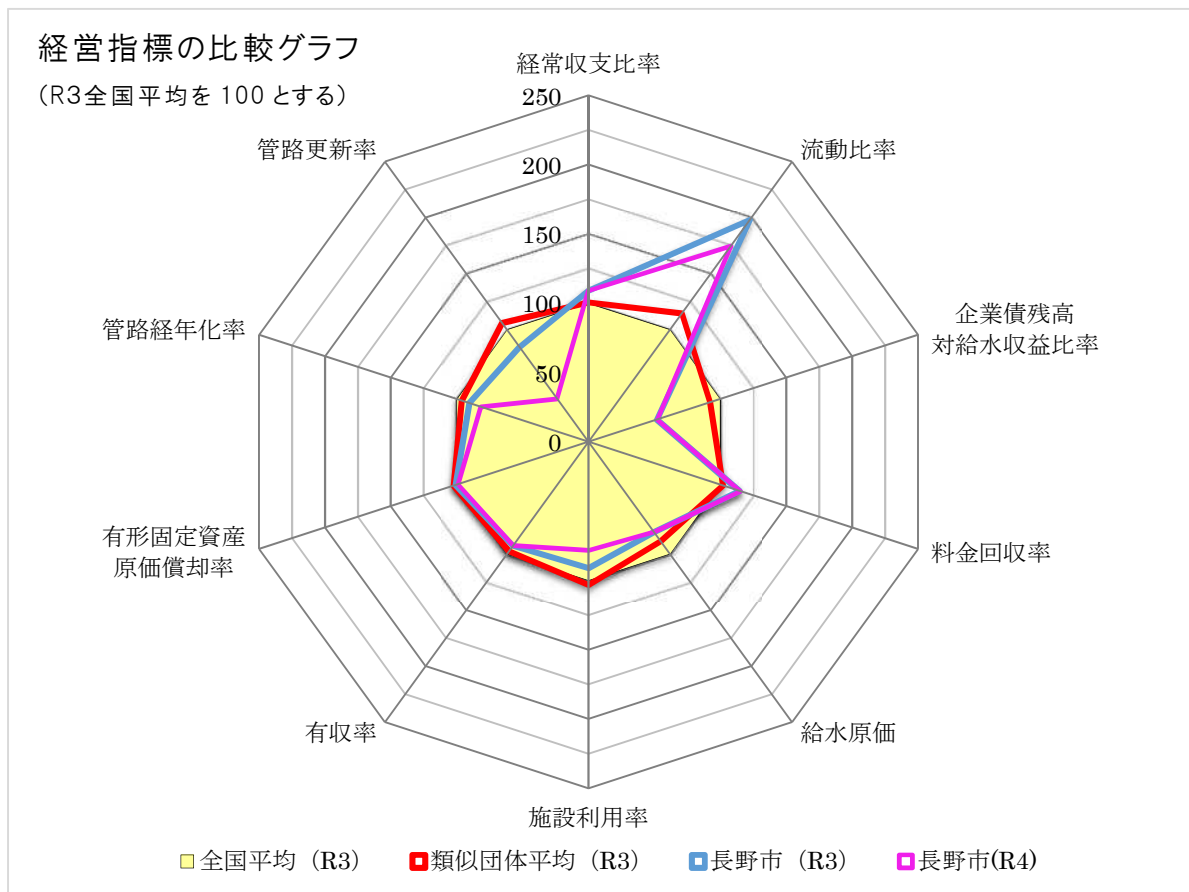
有収率は 85.34%で、前年度から 0.39 ポイント減少しました。引き続き漏水調査や、優先順位をつけた管路の更新を進めることなどにより、有収率の向上を図っていきます。

令和4年度は、老朽管の更新を 4,007m実施しましたが、68,390mの管路が耐用年数を超過したため、管路経年化率は前年度から 2.69 ポイント上昇し 27.44%となりました。基幹管路耐震化率は、3,181mの基幹管路が耐震化されたため、前年度から 0.54 ポイント上昇し 43.76%となりました。今後も計画的に管路の更新を実施していきます。

経常収支比率については、給水人口の減少に伴う給水収益の減少や、営業外収益の減少等により前年度と比較して収益は減少したものの、減価償却費や支払利息等の減少により、前年度とほぼ同水準の 121.76%となりました。健全経営の水準とされる 100%を上回っていますが、引き続き費用の削減を図っていきます。

料金回収率は 116.96%と、前年度と比較して 0.75 ポイント増加し、ほぼ目標どおりとなり、給水に係る費用は給水収益で十分に賄えている状況です。

4 指標等の分析【経営戦略15～19ページ】



項目	全国平均 (R3)	類似団体平均 (R3)	長野市 R3	長野市 R4
経常収支比率【目標設定指標】	111.50%	112.26%	121.73%	121.76%
流動比率	267.39%	306.15%	529.39%	467.04%
企業債残高対給水収益比率	264.20%	286.27%	508.44%	506.77%
料金回収率【目標設定指標】	101.47%	103.59%	116.21%	116.96%
給水原価 (円/m ³)	146.80 円	165.46 円	182.33 円	182.43 円
施設利用率	60.64%	62.58%	55.24%	47.43%
有収率【目標設定指標】	92.44%	90.21%	85.73%	85.34%
有形固定資産減価償却率	51.89%	50.74%	51.44%	52.41%
管路経年化率【目標設定指標】	22.38%	23.27%	24.75%	27.44%
管路更新率	0.65%	0.69%	0.55%	0.25%

流動比率は467.04%と前年度と比較して下回っているものの、短期的な債務に対する支払い能力は十分に有しているといえます。また、流動比率及び経常収支比率は、全国平均や類似団体平均と比べても高い水準となっており、良好な状態です。

前述のとおり、料金回収率は前年度と比較して上昇しており、全国平均や類似団体平均と比べても高い水準となっており、良好な状態です。

企業債残高対給水収益比率は前年度と比較して1.67ポイント減少（改善）し、506.77%となりましたが、依然として全国平均や類似団体平均よりも高く、企業債残高の規模は大きい状況であり、今後も企業債の借入れについては抑制を図っていきます。

有形固定資産減価償却率は、令和3年度より0.97ポイント上昇し52.41%となりました。また、管路経年化率は前年度より2.69ポイント上昇し、27.44%となるなど、施設や管路の老朽化が進んでいる状況といえます。

管路更新率は、前年度より0.30ポイント減少し0.25%となり、全国平均と比べても低い数値となっております。これは基幹管路の耐震化を優先したことによるものです。将来の更新需要に備え、現在の経営状況を維持しつつ、引き続き計画的な施設更新を行ってまいります。

IV. まとめ

令和4年度は、水道使用水量、給水収益がともに前年度を下回ったほか、原油価格や資材価格の高騰により、厳しい経営環境に置かれてましたが、経営の基本方針に沿って、安全な水道水の供給、災害に強い施設の整備等を進めました。

今後も、長野市水道施設整備計画に基づき基幹管路の更新や耐震化を進めるとともに、より一層の経営効率化と経費削減を図りながら健全経営の維持に努めていきます。

経営指標の概要

・ 経常収支比率

給水収益や一般会計からの繰入金等の収益で経常費用をどの程度賄えているかを表す指標です。100%以上であると、単年度の収支が黒字であることを示しており、収入が高くなるほど数値も高くなるため、数値が高いほうが良い状態といえます。

・ 流動比率

短期的な債務に対する支払能力を表す指標です。数値が高いほど、1年以内に支払うべき債務に対して、支払うことができる現金等の資産が多いということになります。100%を下回ると、1年以内に支払わなければならない負債に対する支払い能力が不足しているということになります。

・ 企業債残高対給水収益比率

給水収益に対する、企業債残高の割合であり、企業債残高の規模を示しています。明確な数値基準はありませんが、経年による状況の変化や他団体との比較など相対的に自市の置かれた状況を把握することができます。

・ 料金回収率

給水に係る費用が、どの程度給水収益で賄えているかを示した指標です。100%を超えている場合、給水に係る費用を収益で賄えているということになります。

・ 給水原価

有収水量1m³あたりにどれだけ費用が掛っているかを表す指標です。この数値が高いほど水を作るのにたくさんの費用が掛っているということになります。

・ 施設利用率

一日配水能力に対する一日平均配水量の割合であり、施設の利用状況や適正規模を判断する指標です。この数値が高いほど、施設に負荷がかかっている状況であり、低ければ遊休状態の施設があるということになりますが、明確な数値基準はありません。

・ 有収率

施設の稼働が収益につながっているかを判断する指標です。100%に近ければ近いほど施設の稼働が収益に反映されている状況です。

・ 有形固定資産減価償却率

有形固定資産の減価償却がどの程度進んでいるのかを表す指標です。数値が高いほど資産の老朽化が進んでいると考えられます。

・ 管路経年化率

法定耐用年数を超えた管路延長の管路総延長に対する割合を表す指標で、管路の老朽化を示しています。

・ 管路更新率

当該年度に更新した管路延長の管路総延長に対する割合を表しています。